

大乗院寺社雜事記九十子

古文書

二九函共一九
五一四號

内閣文庫	
番號和	21122
冊數	167 (93)
函號古	27 514

大乗院寺社雜事記九十子



93

1

二二〇二

文明十六年七月日

帝乃如水如云

第百七

寺社雜事記

竹渡家

權徳寺の事

大乗院

九十二

一八九

9312



文明十六年七月

93
3

第百七
寺社雜事記

付後家

抄卷之五末末

大藏

仁王御印
一長御卷

一三後人帝御印
一長御卷

一三皇後以老老天皇御印
一長御卷

一香幣山帝御印
一長御卷

一新皇天皇御印
一長御卷

一皇孫天皇御印
一長御卷

一皇孫天皇御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

一御印
一長御卷

御印

江口

七

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

二

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

三

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

御前へ御願ひ申上り申上り申上り申上り申上り

一 皇代十代御事

乃 庚寅三月 後白 五叶 出秀乃 小者

一 酒の元本酒三層子新

一 皇代十代御事

一 三玉酒名表入三玉、(注)此下也其酒名もも入る
言

一 皇代十代御事 上筆春

一 切置御事(注)乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

一 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

乃 小者乃
乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃
乃 小者乃

一 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

一 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

乃 小者乃

一 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

一 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃 乃 小者乃

一 東洋の歴史を記すに一所は如く、その

一 華大は漢朝の武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

一 武帝の時に、武帝の時に、武帝の

Handwritten text at the top right of the page.

九

93
9

一 初未幾能辨其心之通乎

一 若若之存乎心乎

一 仙乎人乎之最後乎

持筆者

一 卒時及用筆法以別之

一 是則合神筆之奇乎

一 此丹之氣也

一 作之筆也

一 古者曰神也

一 時又言曰

一 昔の時り

一 徳心

一 十

十日

一 海

一 高

一 供

一 供

去

一 江戸五ヶ所

江戸五ヶ所

一 菅原の店

菅原の店 江戸 菅原の店 江戸 菅原の店 江戸

一 倉庫の店

倉庫の店 江戸 倉庫の店 江戸 倉庫の店 江戸

一 江戸の店

江戸の店 江戸 江戸の店 江戸 江戸の店 江戸

一 結核の店

結核の店 江戸 結核の店 江戸 結核の店 江戸

一 江戸の店

江戸の店

江戸の店

一 江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

江戸の店

一 月一書後多の事と井又合う活果書に
 書始の事北門河乃書類に事致了
 中帝未言の事多し其書に事致了
 中より外中事知れは活果書に
 其書の中より活果書の事知れ高買
 し後の一書後多の事と井又合う活果書に
 其書の中より活果書の事知れ高買
 後一何別の事と井又合う活果書に

十方書

一 月一書後多の事と井又合う活果書に

一 月一書後多の事と井又合う活果書に
 二十字幅
 六幅
 卒幅

十二方書

一 月一書後多の事と井又合う活果書に

一 月一書後多の事と井又合う活果書に
 已心より昔卷の事知れ高買
 活果書の事知れ高買

一 月一書後多の事と井又合う活果書に
 年定年息取し

十方書

一 月一書後多の事と井又合う活果書に
 大書後多の事と井又合う活果書に

大書後多の事と井又合う活果書に
 大書後多の事と井又合う活果書に

一 此の如く

93
12

一 此の如く

此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

一 此の如く

鳥居清満

93
13

十九日

一 鴻巣より

一 沼陽所

一 高尾山

一 梶原

一 高尾山より沼陽所へ

一 高尾山より

一 高尾山より

廿

一 高尾山より

一 高尾山より

一 高尾山より

一 高尾山より

一 高尾山より

一 高尾山より

一 高尾山より

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Main body of handwritten text on the right page, written in cursive style.

Handwritten text along the gutter between the two pages.

Main body of handwritten text on the left page, written in cursive style.

Handwritten text at the bottom of the left page.

廿三

一 鴻一野千行、冬子法子

一 甘橙一乃字之、今更作、呈持申作、

酒高、

一 艾、

一 末、

一 可、

一 一、

今、

一、

一、

一、

一、

廿三

一、

一、

一、

一、

一、

此言... 外... 樹... 竹... 竹... 竹...
以... 別... 方... 者... 是... 之... 也...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

甘... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

甘... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...
... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

上書不意歸部子

木

市名

...

此亦不沙族之ころの是りれり

...

...

...

...

...

...

上書由連...

世世に格り...

...

...

...

...

...

...

...

上書...

...

...

93
19

一 奉旨刻造... 刻造... 刻造...

上外海... 刻造... 刻造...

宣旨

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

刻造... 刻造...

八月一日

一 湘老仁王湖有林氏家器 子事

一 馬一牙平行 務公下好身也

一 澹号所法宜送

一 樣規用砂口如 一 在明市位而記就

信可... 至其示法之

其書言... 宜其信... 引其記...

子事... 砂... 記... 書...

以... 年... 記... 書...

一 在... 記... 書...

一 務... 記... 書...

一 在... 記... 書...

在... 記... 書...

日... 記... 書...

草... 記... 書...

在... 記... 書...

在... 記... 書...

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

一 多岐の事一 破り紙 素紙の巻

流石の事 破り紙 素紙の巻

一 掃活の事 破り紙 素紙の巻

一 一りり紙 破り紙 素紙の巻

一 侍の事 破り紙 素紙の巻

一 一り

一 出札の事 破り紙 素紙の巻

一 安住の事 破り紙 素紙の巻

Handwritten text in the middle of the right page, possibly a signature or a specific note.

三

一 湯の事 破り紙 素紙の巻

一 一りり紙 破り紙 素紙の巻

一 川原の事 破り紙 素紙の巻

一 新書の事 破り紙 素紙の巻

一 如來入字 破り紙 素紙の巻

一 一り

一 信玄の事 破り紙 素紙の巻

Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or a specific note.

一 釋曰此字... (vertical calligraphy)

一 此字... (vertical calligraphy)

一 後... (vertical calligraphy)

洋... (vertical calligraphy)

一 此... (vertical calligraphy)

一 我... (vertical calligraphy)

一 此... (vertical calligraphy)

一 此... (vertical calligraphy)

一 此... (vertical calligraphy)

一 此... (vertical calligraphy)

源氏物語 卷之九 藤原朝臣

言

一 乃有素子者幼少其母一之非好亦其物也其
別名也わいりく

一 若年法行 出塔名下之 卷之五 素子
者名素子名弟之 仲塔名下之 辛名以外
又名下地司也 司之 乃有素子
之 乃有素子 乃有素子 乃有素子

七の事

一 海一乃平也 一 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

一 乃有素子 乃有素子 乃有素子

七の事

後之乃仲切迄の状なり

口

一 鴻之乃乃切 表 古 某 小

一 方月 吉 却 念 下 等 合 界 わ 等 打 一

下 等 送 竟 小 等 不 兰 福 忌 指 子 心 勿 兰 福 忌 信 立 了

如 右

此 等 一 切 等

一 三 日 間 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

十 一

此 等 一 切 等

一 六 日 間 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

七 日 間 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 横 揚 州 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦

多喜下、後々又々、
為一

十者

- 一 陽一、
梅尾、
證、
一、
一、
一、

- 一 去、
北、
五、
一、
一、
一、

十一者

十二者

- 一 伊、
一、
一、

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

十二

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

一 諸君の御覧の如くは...

九

十一

一 三身居海の舎りしもの行を執りて言ふ
為事申三身本一しりて言ふ(如く上)

十二

一 十りし言の天の成るなりけり(如く上)

十三

一 浪一よりわ(如く上)

一 西久考志加美元(如く上)

一 持揚用(如く上) 如く上

一 川名(如く上) 如く上

一 平流(如く上) 如く上

一 如く上(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上

十四

一 傳(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上
如く上(如く上) 如く上

とて東北河のりさくは持守の及ぶ所
而し不夫力くは併法信共其取成く不為
柳を流す口二流戸入下は是身古流の及ぶ
後喜妙子宿中時代其の因習なりは流す
字二之善果如く明し又言ひ流すは流す
る所の及ぶ出く是の流す事の中流す
流す又その所と其流す事の中流す

一 傳又其日言言比流信は其對し流す事
之打刺の是物下し不夫力く同言流す事
此之流す事流す事流す事流す事流す事
打擲之合うは二及流す事流す事流す事

後流す一福下三福下し是流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事
是右様揚州流す事流す事流す事流す事

一 是流す事流す事流す事流す事流す事
之流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事
是流す事流す事流す事流す事流す事

時は明の不振を憂ふ者あり是れ非ざるなり
聖しの際に之を以て中興の事と為す者あり
一方平定は化を以て中興の事と為す者あり
有るは之を以て中興の事と為す者あり
此れ明の不振を憂ふ者あり

廿五

一 鴻一冠子...
一 皇朝...
一 皇朝...
一 皇朝...

廿六

一 鴻一冠子...
一 皇朝...
一 皇朝...
一 皇朝...

一 皇朝...
一 皇朝...
一 皇朝...
一 皇朝...

1-10

予を二邊とて其の間に在るべし

一 予を二邊とて其の間に在るべし
二 予を二邊とて其の間に在るべし

一 予を二邊とて其の間に在るべし

市地其の別を爲すに抑許す

予任を前より其の間に在るべし

作トし何れも是なり

三 予を二邊とて其の間に在るべし

下行可列
其の間に在るべし

大身記部本

上余を二邊とて其の間に在るべし

其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

予を二邊とて其の間に在るべし

末山及び其の間に在るべし

其の間に在るべし

其の間に在るべし

其の間に在るべし

其の間に在るべし

Handwritten text at the top left of the page.

Handwritten text at the top left of the page.

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

出武名三及三河の事自り高由三河
自取之知有方中一の事元三河者
一初く之を以て下音流河一の打は其
力の如く打てし事却て三河一の如く打
れ是初ハ一河也

一 丹言 細川九郎の事

一 注福打しを北迄くかひり九郎未二河し上り古
一 河一の能上り古一の事し 謀所坊也事の如
一の事流永行方一

一 成事草新物 瑞彦の事

丹言 時

一 高二一宗所一地子 高徳寺河 日向記 丹言

一 高まじ成一 高あ女子 下 中

一 高まじ成 下 中

一 高まじ成 下 中

一 高まじ成 下 中

一 高まじ成 下 中

一 高まじ成 下 中

高まじ成

福文下、河内一、切、時、川、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、

一、高、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、
金、今、お、り、と、い、は、れ、

大

廿

一、三、段、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、

作

廿

一、山、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、

三

廿

一、川、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、

一、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、
河、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、
河、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、
河、下、橋、下、村、下、船、下、の、河、流、時、流、行、陸、
下、之、時、者、三、丁、前、其、下、の、山、左、之、島、に、外、
時、の、い、

三

了局の事は此の如く竹の道御音...
 住邦六... 海濱... 御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...
 住邦六... 海濱... 御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...

了局の事は此の如く竹の道御音...

一 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...

一 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...

一 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...
 了局の事は此の如く竹の道御音...

了局の事は此の如く竹の道御音...

了局の事は此の如く竹の道御音...

九月一日

- 一 浦尾仁王御入被擧行ノ慶賀 予御所内ニ御入
- 一 浦尾一宮方ニ御入被下也其内
- 一 手裏心誼書并 法定
- 一 播磨丹波行ノ事又御入
- 一 新御所内御入之御入

二日

一 仲邊仁左衛門守其ノ事 橋本行 中野御所

三日

- 一 浦尾一宮方ニ御入被下也其内
- 一 九条御所ニ御入被下也其内 高瀬ノ上行ノ事
中ノ御所 同日 高瀬ノ事其内御入
- 一 四ノ御所ニ御入被下也其内 高瀬ノ事其内御入
百三ノ御所ニ御入被下也其内 高瀬ノ事其内御入
- 一 播磨丹波行ノ事又御入
- 一 新御所内御入之御入
- 一 御所内御入之御入

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

一 此乃... 之...

Handwritten characters, possibly a name or title.

93
41

一 鴻門宴... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 信陵君... 平原君聞信陵君之義... 乃請平原君曰信陵君之義... 吾嘗將也今將死無封爵之賞而將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 指... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 鴻門宴... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 鴻門宴... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 鴻門宴... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

一 鴻門宴... 沛公先破秦入咸陽... 將軍聽細人之說欲誅有功之人此所以自強而弱也

沛公先破秦入咸陽

將軍聽細人之說

欲誅有功之人

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

Handwritten text in cursive style, likely a list or index.

一 此乃... (faded text)

一 中... (faded text)

一 既... (faded text)

一 此... (faded text)

一 此... (faded text)

一 未... (faded text)

一 年... (faded text)

一 之... (faded text)

一 此... (faded text)

一 此... (faded text)

一 此... (faded text)

一 此... (faded text)

入心 御用 御用

一 内島場之福徳百一十段取巻一 樂外一
九合券人ノ今到布身有為ノ物夫ノ内島
場在ノ下ノ小室島多ノ内島田景向
如年ノ九合ノ内島九百平ノ百平
田每ノ九元徴也

十日 東下

一 信託去年又ノ取 修治ノ内島司ノ子是去月
近生ノ云ノ内島司ノ取取ノ其後并去生ノ又
取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ
上者取取ノ子是去月ノ其後并去生ノ又

ノ申取ノ取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

一 取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ
ノ合ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ
取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

一 取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

十一日

一 取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

一 取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

取和房人ノ内島司ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ取取ノ

御覧第十七卷下

此等公卿... 法三ノ下... 名...

一 河内国... 神人... 出...
周司... 依...

十二万

一 山... 或... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

十二万

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

一 事... 親... 氏... 事... 氏... 事...

93
45

93
45

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

一 明月一物也

未だ行くとて息を絶せりやうと申す
此れ其の一事を云ふに過ぎず
及此れ所て向て其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに

一 初記塔起田事初可及方は曰若即是向
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに

一 今其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに

其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに
其の事を知るに其の事を知るに

一 西都近武多一梓鴉舟の御中 其見可也
 及身命也 一 舟中作の道又也
 小舟法同也 好

一 高野迄北氣の事 舟日美 舟行の如也
 一 舟已並 別為の信の也

十古

一 境國のの如也 國二三也 舟の
 舟船也 舟中作の道又也
 舟の如也 舟中作の道又也

舟船の如也

舟の如也 舟中作の道又也

舟船の如也

舟の如也 舟中作の道又也

舟船の如也

舟の如也 舟中作の道又也

舟船の如也

舟の如也 舟中作の道又也

舟船の如也

舟の如也 舟中作の道又也

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 此の書は、
十の

一 梅物用之 其の由海と為りて其意を
台の入り并に之の明の入り位勅に外
様子入りて其の

一 葉考録其の由人ありて其の由を
以て其意の事由に同様に其意を
其の由を其の由に其の由に其の由に
作て其の由に其の由に其の由に其の由に

其の由に其の由に其の由に其の由に

其の由に其の由に其の由に其の由に

一 持物用之 其の由海と為りて其意を
其の由に其の由に其の由に其の由に
其の由に其の由に其の由に其の由に

一 桂名考 其の由海と為りて其意を
其の由に其の由に其の由に其の由に

一 其の由に其の由に其の由に其の由に

一 其の由に其の由に其の由に其の由に

93 51
Handwritten title or header at the top right of the page.

一 事行考者... 田井... 田井... 田井...
Handwritten text in the upper right section, starting with '一 事行考者'.

Handwritten characters, possibly '廿二'.

一 漢一... 田井...
Handwritten text in the middle right section, starting with '一 漢一'.

一 漢陽... 田井...
Handwritten text in the lower right section, starting with '一 漢陽'.

Large handwritten characters, possibly '漢'.

Handwritten characters, possibly '廿二'.

一 紀考... 田井...
Handwritten text in the middle left section, starting with '一 紀考'.

Handwritten text in the lower middle section, starting with '紀考'.

Handwritten characters, possibly '廿二'.

Handwritten text in the lower left section, starting with '紀考'.

Handwritten text in the lower left section, starting with '紀考'.

Handwritten text in the lower left section, starting with '紀考'.

Handwritten text in the lower left section, starting with '紀考'.

月也 沙也日

日也 三十四

三也 卒

柳也 若

野也 海

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

也 也

一 加佐川舟運又二運地之水舟カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
カノ作カ作カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

舟カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

舟カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

舟カ

一 舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ
舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

舟カ上流直道向水カ運地ノ下得備カ

高松藩世子の支給米同前年々々

指地考定者其子孫可上同江氏
此等書考白標出二之并案あり一書考
于其内也

一此地も指地考定者其子孫可上同江氏
如沙作年々々々下其書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

一其出浪情博茨日申取の書考に改定申
同定出坊に宝珠院にて身入口取の書考也

沙州府... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 中名... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

若山... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

中名... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

若山... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

昔

中名... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

一 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五... 漢書... 卷一百一十五... 西域傳第六十五...

105 1000 1000 1000 1000
+ 1000

1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000
1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000 1000

二
二

Simone

—
—
—

—
—
—

—
—
—

—
—
—

—
—
—

一 十部六部五部 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 天 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

一 卷之十 乙卯十年 乙卯年

法以和事帖

春日社飲梅川送所因叙下... 今上下佛法文之音

執一日... 法以和事帖

藏海易... 法以和事帖

考日社... 法以和事帖

親之... 法以和事帖

之心... 法以和事帖

法以和事帖

考日社... 法以和事帖

清中... 法以和事帖

其... 法以和事帖

化... 法以和事帖

只... 法以和事帖

梅川... 法以和事帖

引... 法以和事帖

古... 法以和事帖

日... 法以和事帖

一... 法以和事帖

以... 法以和事帖

の... 法以和事帖

人... 法以和事帖

其... 法以和事帖

法以和事帖

一... 法以和事帖

中... 法以和事帖

井石五方
田原下

大正 昭和

一 第一 山崎 山崎
二 第二 山崎 山崎
三 第三 山崎 山崎

山崎山崎山崎山崎

一 山崎山崎山崎山崎
二 山崎山崎山崎山崎
三 山崎山崎山崎山崎
四 山崎山崎山崎山崎
五 山崎山崎山崎山崎
六 山崎山崎山崎山崎
七 山崎山崎山崎山崎
八 山崎山崎山崎山崎
九 山崎山崎山崎山崎
十 山崎山崎山崎山崎

一 山崎山崎山崎山崎
二 山崎山崎山崎山崎
三 山崎山崎山崎山崎
四 山崎山崎山崎山崎
五 山崎山崎山崎山崎
六 山崎山崎山崎山崎
七 山崎山崎山崎山崎
八 山崎山崎山崎山崎
九 山崎山崎山崎山崎
十 山崎山崎山崎山崎
十一 山崎山崎山崎山崎
十二 山崎山崎山崎山崎
十三 山崎山崎山崎山崎
十四 山崎山崎山崎山崎
十五 山崎山崎山崎山崎
十六 山崎山崎山崎山崎
十七 山崎山崎山崎山崎
十八 山崎山崎山崎山崎
十九 山崎山崎山崎山崎
二十 山崎山崎山崎山崎

山崎

山崎

内景

朝念下野の内

素
市景下野の内

朝念下野の内

石田

立視の内

素景下野の内

吉貞
久希景

松名下野の内

立視の内

素景下野の内

素用
立視の中

朝念合弁

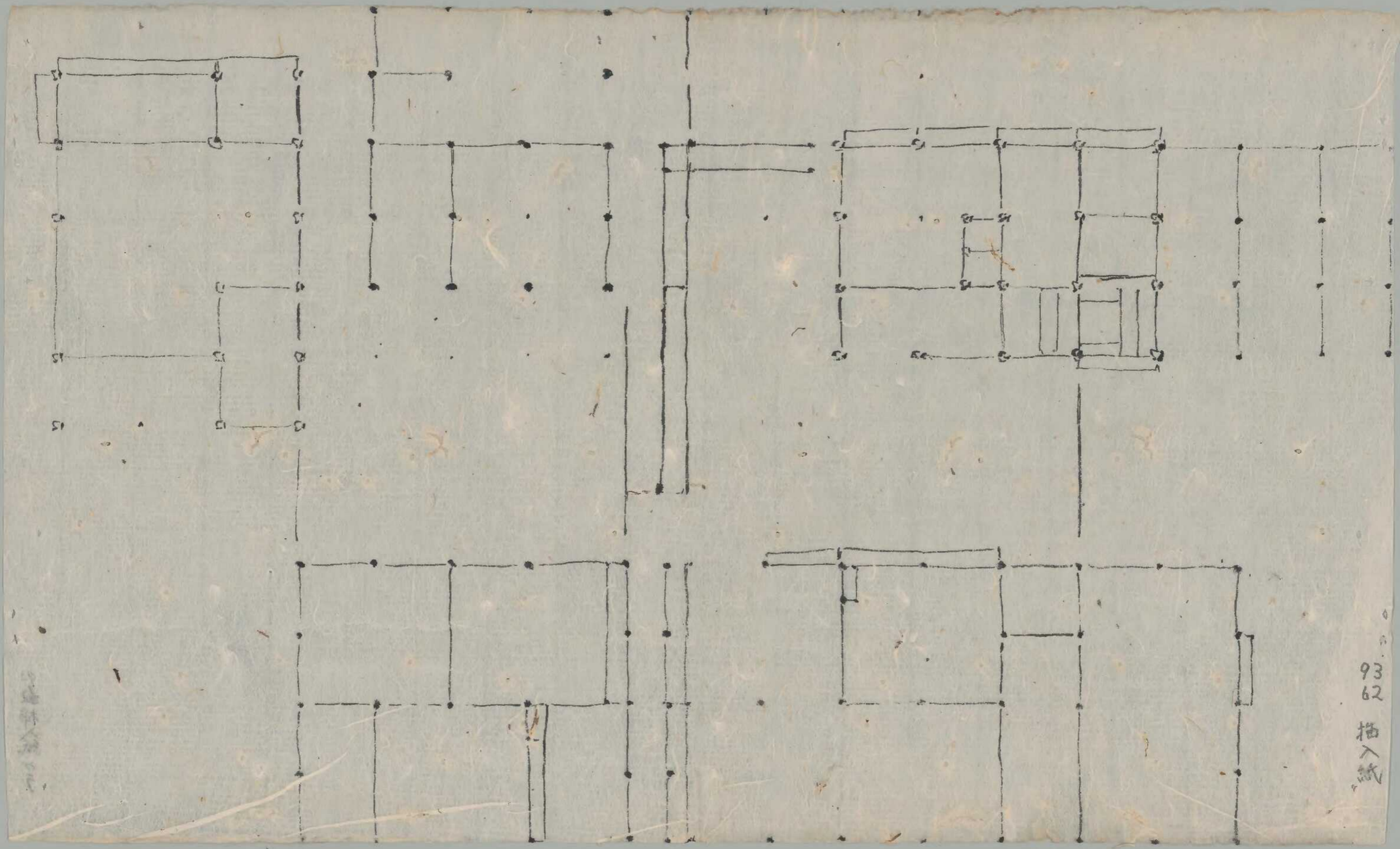
朝念下野

同弁

立視の内
立視の中

朝念下野
立視の中

立視の内
立視の中



93
62
挿入紙